



## 国語でのキャリア教育

～主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)～

今年度は実践発表会があり、先日、研修日程が発表になりました。部会研も行われます。そこで今回のキャリア通信では、**国語の授業とキャリア教育を結びつけていきます。**

「教科の授業を通してのキャリア教育」どんな実践なのか、なかなかイメージしにくいところです。しかし、**キャリア教育 = 生き方教育**ということ、**心情、生き方を考える**ということであれば、国語では自然とつながっていく内容もあります。

アプローチの方法としては、**<教材からのアプローチ>**と**<授業方法からのアプローチ>**の二通りが考えられます。「偉人伝」的な教材も多く見られます。ここから「生き方」を考えさせる実践を行うことは、さほど難しいことではありませんし、これまでもキャリア教育が行われてきたのではないのでしょうか。もう一つの**<授業方法からのアプローチ>**を考えしていきます。

### 主体的・対話的で深い学びがキャリア発達を促します！

**<授業方法からのアプローチ>**として、キャリア教育では講義ではなく「子ども同士の学び合い」「友だちから話を聞くことによって自分の経験だけではなく、他人の経験をもとに考える」という、主体的・対話的で深い学びが効果的です。(※これはすべての教科に言えます。)



主体的・対話的で深い学びの授業を実践するにあたり、ペア学習やグループ学習などをどのように取り入れるかということになってきますが、これは授業ですでに実践されているものです。①**ペアでお互いの話を聞き合うこと**②**同じ考えを持っている者同士が集まって、意見を交流したり、違う意見を持つ者同士で集まって意見を交流したりすること**など、こうした活動を通してキャリア発達を促すことができます。

いつも実践していることがキャリア教育の授業でもあることを意識して行ってください。

### 今一度確認！

「主体的・対話的で深い学び」の実現とは…

- ①学ぶことに興味関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」の実現ができているか。
- ②子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的学び」が実現できているか。
- ③習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。